

令和5年度第3回海老名市市民活動推進委員会 次第

日時：令和6年2月14日（水）午前9時30分から

場所：海老名市役所7階 706会議室

1 開会

2 副市長挨拶

3 諮問

4 議題

- (1) 令和5年度海老名市市民活動推進補助金 交付事業視察の報告
- (2) 市民活動団体の展示会について
- (3) 市民活動推進補助金交付団体に対するアンケート調査結果について
- (4) 令和6年度海老名市市民活動推進補助金 審査申込団体の書類確認
- (5) その他

5 閉会

6 その他

- (1) 次回の市民活動推進委員会

日時：令和6年3月9日（土）午前9時30分から

場所：海老名市役所 702会議室

内容：プレゼンテーション審査

- (2) 答申日程について

決まり次第ご連絡いたします。

令和 5 年度海老名市市民活動推進補助金交付団体事業視察 報告書

標記の件について、次のとおり報告します。

1 団体

自主夜間中学「えびなえんぴつの会」

2 事業概要

(1) 事業名称

第 6 回出前講座 いじめや不登校のない学校づくり

(2) 交付金額

300,000円（自立編）

(3) 事業内容

講師に元世田谷区立桜丘中学校校長 西郷 孝彦氏を迎え、笑顔あふれる
学び舎の環境形成について講演

3 視察詳細

(1) 日時

令和 5 年10月 9 日（月・祝） 午前10時から

(2) 場所

海老名市文化会館 3 階 351～353会議室

(3) 出席者

ア 市民活動推進委員 4 名

渋谷委員長、大島委員、川田委員、高橋委員

イ 市民活動推進課 1 名

近藤

4 当日の様子、所見

(1) 当日は、雨や寒さなどの影響が心配されたが、主催者側含めて、80～90名
の参加があった。

(裏面へ)

- (2) 参加者は、高齢者や元教員が中心であったが、講演を聞く反応を見る限り、斬新な内容と捉えている印象。
- (3) 冒頭で会の紹介、自主財源の確保（カンパ・本の斡旋など）を試みるなど、自立に向けた活動がなされていた。
- (4) 講師は、昨年度、補助金交付団体（まなピタネット）が開催した事業でも講演しており、学校の既成概念を変える取り組み実績を中心に、こどもの状況に合わせた環境づくりについて熱心に講演した結果、時間が2時間近くかかったため、最後の質疑応答を聞かずに退室された参加者もいた。
- (5) 視察団体が異なっても、同じ講師による講演を依頼する場合は、海老名で同じ話を何回もしていただくより、内容を変更するなり、発展形にするなりして開催することが必要と感じた。

【参考】

① 受付



② 開催時の様子



③ 開催時の様子



④ 開催時の様子



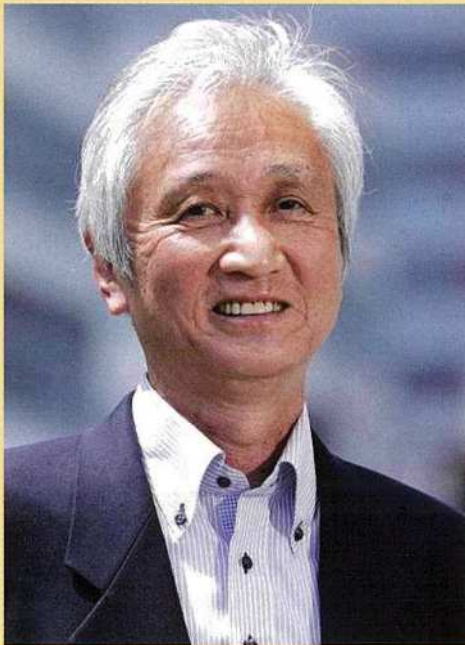
自主夜間中学「えびなえんぴつの会」

第6回出前講座

講師：元世田谷区立桜丘中学校校長 西郷孝彦さん

演題：いじめや不登校のない学校づくり

「すべての子どもたちが、3年間を楽しく過ごせるにはどうしたらいいか。そのことばかり考えていたら、ちょっと変わった学校になりました。思い切り甘やかしてください。子育てにしつけは必要ありません。夢のような環境の中でほうっておけば、自然に学ぶ力が備わっている子どもは、自らの力で学びます」とおっしゃる西郷先生。笑顔あふれる学び舎は、どのように作られたのかを話していただきます。



<講師プロフィール>

1954年横浜生まれ。上智大学理工学部を卒業後、1979年より都立の養護学校をはじめ、大田区や品川区、世田谷区で数学と理科の教員、教頭を歴任。2010年世田谷区立桜丘中学校校長に就任し、生徒の発達特性に応じたインクルーシブ教育を取り入れ、校則や定期テスト等の廃止、個性を伸ばす教育を推進した。また、地域の達人たちに講演や部活指導を依頼し、周囲の大人たちと共に育てる環境を作った。2020年3月退職。著書に、「校則なくした中学校たったひとつの校長ルール」「過干渉をやめたら子どもは伸びる」（共著）などがある。

2023年10月9日（月・祝）10時～12時（開場9時30分）

海老名市文化会館 3階 351～353・参加費500円

22歳以下は無料（申込制）・未就学児はご遠慮下さい

申込先：090-1544-1432、090-6941-6496

（チケットは、文化会館では販売致しません）

この催しは、海老名市市民活動推進補助金交付事業です

令和 5 年度海老名市市民活動推進補助金交付団体事業視察 報告書

標記の件について、次のとおり報告します。

1 団体

えびなみんなにやさしいごはんプロジェクト

2 事業概要

(1) 事業名称

映画上映会 「希望の給食 食と農がつむぐ自治と民主主義」

(2) 交付金額

100,000円（入門編）

(3) 事業内容

先進的な学校給食やオーガニック栽培の事例をまとめた映画を視聴し、理解を深めるとともに、海老名市での普及に努める

3 視察詳細

(1) 日時

令和 5 年10月18日（水） 午前10時から午前11時40分まで

(2) 場所

えびな市民活動センタービナレッジ 305会議室

(3) 出席者

ア 市民活動推進委員 4名

川田委員、木下委員、塩地委員、児島委員

イ 市民活動推進課 1名

山田

4 当日の様子、所見

(1) 映画は、一般的な映画ではなく教材映画のような形のものであり、日本だけでなく世界における先進的な事例をまとめていた。

(裏面へ)

(2) 先進的な事例の中には、一般財団、市民団体等のものもあり、団体としても参考になっていたのではないかと思慮する。

(市民団体が地域の協力を得てお弁当を作成し、困窮者に配布する。など)

(3) 冒頭で会の紹介、自主財源の確保（カンパ）を試みるなど、自立に向けた活動がなされていた。

(4) 参加者は10名。うち、6名は団体の会員のようにであり一般参加の割合が低いように感じた。

(5) 当日の構成は、映画上映（約1時間） ＋ 海老名市のオーガニック農家によるゲストトーク（約30分）となっており、質疑応答では多くの質問がなされていた。

【参考】

① 上映中



② ゲストトーク・質疑応答



【映画の上映会を開催します!】

▶▶ 嬉しいおいしい企画!

オーガニック野菜のお土産付き
(詳しくは裏面へ)

10/18 (水)

10:00~11:30

PRC
DVD

希望の給食

食と農がつむぐ自治と民主主義

子どもたちが学校で毎日のように食べる給食。

給食は、子どもたちの健康と成長を担うだけでなく、地域の食と農を結びつけます。

どのような食材を使うのか、費用負担をどうするか、誰に提供するのか。

給食をめぐる選択は、どのような地域を実現するのか、という「自治」の実践と切り離せません。

日本と韓国の事例から、地域の未来を形作る給食のあり方を考えます。

場所

海老名市さつき町51-2

えびな市民活動センター

ビナレッジ305

申込締切

10/11 Wed.

参加費

お一人

500円 (お子様無料)

どなたでもご参加ください!



子どもたちの健康と成長を担い、地域の食と農をつなぐ給食。そこに私たちはどのような未来を描き、実現していくのか。



地元産有機米100%の給食を短期間で実現した千葉県いすみ市。地域の生物多様性をどうやって未来に残すか、という課題を行政と市民がともに議論する中で、子どもたちの食と地域興しが結びついたという。



果樹の町として知られる長野県松川町。遊休農地に悩む行政、地場産野菜を求めていた栄養士、有機農業に取り組み始めていた生産者らが協力し合い、地元産有機の米・野菜を自校式調理で子どもたちに届けている。



都市部にありながら、生産者との顔の見える関係を重視した手作り給食で長年知られる東京都武蔵野市。民間委託ではない財団方式というユニークな運営形態のもとで、こだわりの食材と調理をいまに受け継いでいる。



給食の有機化と無償化が一体になって進む隣国・韓国。すべての人の食の基本権の保障という課題を市民参加で解決するフードガバナンスの仕組みが作られ、食をめぐる取り組みは学校給食を超えて公共給食へと広がっている。

日本全国の小中学校で提供されている学校給食は、子どもたちの健康と成長を支えるだけでなく、食について学ぶ生きた教材の役割も担っています。近年では、給食への地場産産物や有機農産物の導入が注目を集めています。

しかし、給食が実現すべき価値は「食の安全」だけにとどまりません。年間を通じて大勢の子どもたちが食べる給食には、どんな食材を誰が作り、どう届けるか、調

理をどう行うか、といった仕組みづくりが欠かせず、給食をめぐる選択は地域のあり方をも左右します。給食を見つめ直すことは、食への権利、地域の発展、自治体による自治といった課題に挑戦していくことでもあるのです。

実際、日本の各地の自治体では、給食を軸にした地域の再生が始まっています。生産者の育成や自然環境の保全、子どもの貧困といった課題への取り組みの中

で、給食の役割が改めて注目されているのです。さらに隣国・韓国では、学校給食の改善を求める市民運動をきっかけに、有機食材を用いた給食を無償で実施する「親環境無償給食」がすでに定着しつつあります。日本と韓国の自治体での取り組みへの取材を通じて、地域の未来を形作る給食のあり方を考えます。

“未来”を先取りするユニークな給食

本編では国内および韓国から4つの自治体の取り組みをご紹介します！インタビュー映像を含む事例解説もご覧頂けます

▶▶ ゲストトーク&野菜のお土産企画▶▶

海老名市にあるオーガニック農家『私農高唱』小口宣夫さんのゲストトーク&野菜のお土産あります！オーガニック野菜の魅力をたくさんお届けします。



■主催:えびなみんなにやさしいごはんプロジェクト (市民活動推進補助金交付事業)

オーガニック食材を広めたい！子どもに良いものを食べさせたい！海老名の給食をオーガニック給食にしたい！そんな想いのメンバーで日々活動しています。子育て中のママさん、野菜やオーガニックがお好きな方など興味を持って頂けると嬉しいです。たくさんのご参加お待ちしております♪



Instagramにて、日々の活動を配信中！一緒に、企画やアイデアを出して下さる方を募集中です。楽しく、そして人と人が繋がっていけるように。ご興味のある方はお問合せください！

【お問合せ・お申込み先はこちら】

☎ 080-3396-7657 代表(樋渡)

お電話、もしくはQRコードを読み取って公式LINEにてお申込みください



令和 5 年度海老名市市民活動推進補助金交付団体事業視察 報告書

標記の件について、次のとおり報告します。

1 団体

フリースクール SACHI station

2 事業概要

(1) 事業名称

文化祭 さちステまつり

(2) 交付金額

79,000円（入門編）

(3) 事業内容

当該フリースクールに通う生徒主導によって、食べ物、手作り雑貨、縁日アトラクションを用意し、広く地域に楽しんでもらうイベントを開催する。

3 視察詳細

(1) 日時

令和 5 年10月22日（日） 午後 2 時30分から午後 2 時50分まで

(2) 場所

上今泉2-3-19 （団体が借用した駐車場等）

(3) 出席者

ア 市民活動推進委員 2名

川田委員、塩地委員

イ 市民活動推進課 2名

近藤課長、山田

4 当日の様子、所見

(1) 計 10 種類のイベントを運営し、子どもから大人まで楽しんでいたようであった。

(裏面へ)

(2) 当日参加したフリースクール生徒は、10名とのこと。運営側は胸等に赤いリボンをつけており、一生懸命取り組んでいた。

(3) 茶道体験は、実際にスクールで授業した内容とのこと。

(4) イベントの周知として、地域一帯に生徒がポスティングをしたとのこと。

【参考】

① 会場の様子①



② 会場の様子② (屋外)



③ 会場の様子③ (室内)



④ 茶道体験



令和 5 年度海老名市市民活動推進補助金交付団体事業視察 報告書

標記の件について、次のとおり報告します。

1 団体

えびなメサイアの会

2 事業概要

(1) 事業名称

えびなメサイアの会

(2) 交付金額

200,000円（充実編）

(3) 事業内容

海老名市民が合唱団員として参加し、プロのオーケストラ、ソリストと共にメサイア全曲を演奏する。

3 視察詳細

(1) 日時

令和 5 年 12 月 9 日（土） 午後 1 時から午後 4 時まで

(2) 場所

海老名市文化会館大ホール

(3) 出席者

ア 市民活動推進委員 6 名

渋谷委員長、瀬戸副委員長、大島委員、木下委員、川田委員、塩地委員

イ 市民活動推進課 2 名

近藤課長、山田

4 当日の様子、所見

(1) 市民演奏者は概ね 60 名程度おり、本番に向けて練習を頑張っていた成果がしっかり表れていたと思う。

(裏面へ)

- (2) 観客は定員の5割ほどであった。子どもから大人、性別問わず幅広い層から興味を持たれている事業と思われる。
- (3) 普段なかなか接することのない、プロの演者と関わりが持てることで市民演奏者にとって良い機会になったのではないかと思う。
- (4) 開場時、長蛇の列となっていたが問題なく運営ができており、団体が事業を運営するノウハウが構築されているものと推察される。(2回目の交付)
- (5) 市民演奏・観客ともにより多くの方が参加できるよう、現在の周知方法を継続するとともに、他の周知方法について検討いただきたい。

【参考】

① 開場時の長蛇の列の様子



② 会場の様子 (演奏前)



③ 演奏中の様子



※ 前方にソリスト、中央にオーケストラ、後方に市民演奏者の順

令和 5 年度 市民活動団体展示会 結果報告（市役所分）

1 展示期間

令和 5 年 12 月 1 日（金）～令和 6 年 1 月 12 日（金）

2 展示場所

海老名市役所 1 階 エントランスホール

3 展示団体

団体名（順不同）	概要
特定非営利活動法人 おおきな木	障がい者向けの音楽療法事業の実施
生きがい発見塾	市民に対し市内の活動団体等を紹介
Root	健康増進・疾病予防講座の開催
特定非営利活動法人 えびなの森の楽校	三日月地を中心に、みどり豊かな市民の憩いの場を提供
NPO法人海老名里山づくり山仕事の会	市内の里山保全活動・環境学習事業の実施
特定非営利活動法人 南えびなスポーツクラブ	南部を拠点とする障がい者向けのスポーツ支援団体。
特定非営利活動法人 grand-mere	障がいをもつ児童や不登校等の学習支援団体
相模国分寺跡の景観を守る会	市民発議の都市計画案策定
まなピタネット	学習支援団体同士の連携強化
NPO法人 多言語広場セルラス海老名	ビナレッジにて多言語活動を実施

※ NPO法人 多言語広場セルラス海老名については、来年度補助金の審査申込を予定していた団体であり、過去の交付はなし。

4 結果

市役所東側玄関付近に設営。来所した方の動線上に設置されていたこともあり、立ち止まって見ている方もいた。今年度は昨年度と比較し、約 3 週間、展示期間を延長したこと、事前相談・審査申込期間に併せて補助金の周知も実施したことで、補助金の存在をさらに広めることができた。

さらに、展示団体の増加、交付実績のない団体からの応募などから、展示会の効果を実感できた。

5 実施の様子



令和 5 年度 市民活動団体展示会 実施経過報告（ビナレッジ分）

1 展示期間

令和 6 年 2 月 1 日（木）～令和 6 年 3 月 11 日（月）

2 展示場所

えびな市民活動センタービナレッジ 1 階 フリースペース

3 展示団体

団体名（順不同）	概要
特定非営利活動法人 おおきな木	障がい者向けの音楽療法事業の実施
生きがい発見塾	市民に対し市内の活動団体等を紹介
Root	健康増進・疾病予防講座の開催
特定非営利活動法人 えびなの森の楽校	三日月地を中心に、みどり豊かな市民の憩いの場を提供
NPO法人海老名里山づくり山仕事の会	市内の里山保全活動・環境学習事業の実施
特定非営利活動法人 南えびなスポーツクラブ	南部を拠点とする障がい者向けのスポーツ支援団体。
特定非営利活動法人 grand-mere	障がいをもつ児童や不登校等の学習支援団体
相模国分寺跡の景観を守る会	市民発議の都市計画案策定
まなピタネット	学習支援団体同士の連携強化
<u>自主夜間中学「えびなえんぴつの会」</u>	誰もが参加できる学習の場の提供
NPO法人 多言語広場セルラス海老名	ビナレッジにて多言語活動を実施

※ 自主夜間中学「えびなえんぴつの会」は、市役所実施時から追加となった団体。

※ NPO法人 多言語広場セルラス海老名については、来年度補助金の審査申込を予定していた団体であり、過去の交付はなし。

4 所見

ビナレッジの入り口から入って正面に展示スペースを設けたこと、また、交流スペース（誰もが自由に利用できるスペース）から良く見える位置に設置したことで、より多くの方に見ていただけるものと思慮する。

5 実施の様子



市民活動推進補助金交付団体への活動調査結果について

1 回答期間

令和5年9月21日（木）から10月20日（金）まで

2 対象団体

50団体（過去交付団体全て）

※ うち、郵便・連絡不通団体は7団体

3 回答数

20団体（回答率40%）

4 質問内容

- (1) 補助金を活用して良かった点とその理由を教えてください。
- (2) 当補助金制度について、要望がございましたら御記入ください
- (3) 現在も事業を継続して実施していますか。（「はい」の場合は、詳細やその資金調達方法等。「いいえ」の場合は理由を御記入ください。）
- (4) 当補助金の交付を受けて団体に変化はございましたか。

5 回答内容（事務局の所見含む）

- (1) 「良かった点とその理由」について

団体の財政面で負担軽減につながり、事業の安定的な運営が可能となった旨の意見が目立った。また、参加費を抑えて実施できたことで、より多くの方が参加し団体の認知度向上にも繋がったようである。

【主な意見】

- 十分な消耗品・備品を買い揃えることが出来た。
- より専門的な講師を招くことが出来た。
- 会場費を補助金で担保することで、安定的な運営となった。
- 資料等の印刷を十分にできた。
- 参加費を抑え、様々な方に参加いただいた。
- 市の補助金を活用しているということで、信頼性が増し広報活動が円滑に行えた。
- 様々な人に団体そのものを認知していただいた。

(2) 「要望」について

交付額・回数等の「補助金」に対しての見直しを求む声が多く寄せられた。ほかにも、プレゼンテーション審査に対して、団体の負担が大きいことや、行政との連携についての回答もあった。

【主な意見】

- 市の他の補助等との併用ができない。
- 継続的な補助金制度が良い（活動内容によっては自己資金を集めるのが困難な場合もあるため）
- 事業に係る経費であれば、交付決定以前の支払いも認めてほしい。（4月上旬のイベントや会場費を事前に支払う必要がある場合）
- 補助金の総交付回数の増加。
- 団体立ち上げ当初はかなりの費用がかかるため、補助額の見直しをお願いしたい。（入門編の上限額引き上げ）
- 団体が現地調査を行う際の活動を補助金対象にしてほしい。
- 行政との連携の手順の確立
- プレゼン審査はかなりの労力である。一度交付された団体がステップアップする際は、簡単な審査となると良い（団体の負担にならない審査方法）
- 補助金交付団体のPRをもっと積極的に行ってほしい（展示会のようなもの）

(3) 「事業継続有無及び資金調達方法」について

回答のあったほとんどの団体が継続して事業を行っている結果となった。資金調達方法については、参加費や会費等で賄っている団体がほとんどのようであるが、市から委託金や他市において市民提案型の協働事業として継続しているとの回答もあった。一方で、連絡が一切取れなかった団体が7団体いることや、中核人物の不在から事業休止となっている団体もあった。

【回答有無について】

回答あり	回答なし	郵便不通	計
20	23	7	50
40%	46%	14%	100%

【事業継続有無について】

事業継続中	事業休止	計
18団体	2団体	20団体
90%	10%	100%

【主な意見（事業継続中）】

- 参加費、会費、賛助会員費、寄付金等を事業費に充当している。
- 団体の運営費を見直した。
- お金が足りないところは、人手でカバーしている。
- 他市において市民提案型の協働事業に応募し実施している。
- 市委託金をいただき運営

【主な意見（事業休止中）】

- 中核人物の不在のため団体としての活動が休止中。

(4) 「団体の変化」について

前向きな変化（成長）の回答が寄せられた。特に多いのは、補助金交付団体であることの信頼性等から団体内外からの興味・関心が増加した等であった。会の活動が大きくなった一方で、高齢化等の問題に直面している団体もいるようであった。

【主な意見】

- 会員（運営者）の意識改革
- 参加者及び支援者の成長
- 補助金を活用し十分な資金で運営することによる団体・事業の課題を見つめなおすことが出来た。
- 会員・活動場所の増加。しかし、高齢化という課題もある。
- 資金面での心配がなくなり、その分事業に集中できた。（活動の幅が広がった。より良い事業を行えた）
- 補助金交付団体としての信頼感から周囲から信用を得やすくなり、広報活動が円滑に行えた。
- 新規事業の立ち上げを円滑に進めることができ、団体に活気が生まれた
- 積極的に活動する会員が増えた
- 補助金交付団体として市民の方から認知され、興味、関心を持つ方が増えたと感じている。

実施要領（書類確認）

1 内容

- (1) 申込みのあった10団体を対象に実施する。
- (2) 提出された申込書類及び事前の質問内容に対して、団体ごとに審議する。
- (3) 審議の時間は、1団体につき概ね15分程度。
- (4) 各団体の審議中または審議終了後、点数票へ得点を記入する。
 - ※ 得点は委員個人の記録用とし、この結果によって不合格にすることはない。

2 確認の流れ

- (1) 事務局から、団体及び事業概要の説明を行う。
- (2) プレゼン審査で団体へ確認することを整理する。
- (3) 点数表に、暫定の点数やメモを記入する。
- (4) 記入した点数表は、事務局でコピーを取り、委員へ返却する。
 - ※ 団体毎に繰り返し審議する。

3 審査基準

審査基準	審査の視点（説明）
公益性	多くの市民が事業の効果を受けられる事業か。
自立性	補助金だけでなく、団体の運営費を持っているか。
計画性	事業の計画に無理がなく、実現可能であるか。 ----- 事業の予算に無理がなく、積算も適正であるか。
発展性	この補助金をきっかけに、事業や団体が発展できるか。
地域性	市民や地域のニーズを的確にとらえた、社会的に必要性のある事業であるか。
先駆性・ 独創性	新しい取り組みで、行政が実施する場合と違う手段や効果が期待できるか。
団体能力	事業を実施する上で、必要な能力（知識、人材など）を備えているか
熱意・意欲	熱意・意欲 団体の熱意や意欲が感じられるか。

[点数の判断]

- 5点・・・良い
- 4点・・・どちらかというが良い
- 3点・・・普通
- 2点・・・どちらかというが悪い
- 1点・・・悪い

第 3 回市民活動推進委員会（書類確認） 進行スケジュール

時刻	所要時間	内容
9:30 ~ 9:35	5 分	開会、市長挨拶（柳田副市長）
9:35 ~ 9:40	5 分	諮問、副市長、部次長退出、席移動
9:40 ~ 9:42	2 分	委員長挨拶
9:42 ~ 9:47	5 分	議題 1 事業視察報告
9:47 ~ 9:57	10 分	議題 2 展示会報告
9:57 ~ 10:12	15 分	議題 3 アンケート結果報告
10:12 ~ 10:15	3 分	議題 4 書類確認の説明
10:15 ~ 10:30	15 分	確認① まりぞうランド
10:30 ~ 10:45	15 分	確認② 中医薬膳学を通して養生を学ぶ会
10:45 ~ 10:55	10 分	休憩
10:55 ~ 11:10	15 分	確認③ 相模国分寺ラジオ体操くらぶ
11:10 ~ 11:25	15 分	確認④ 学習支援ボランティア「わいわい」
11:25 ~ 11:40	15 分	確認⑤ チーム海老名
11:40 ~ 11:55	15 分	確認⑥ えびなみんなにやさしいごはんプロジェクト
11:55 ~ 13:00	65 分	昼休憩
13:00 ~ 13:15	15 分	確認⑦ 相模国分寺跡の景観を守る会
13:15 ~ 13:30	15 分	確認⑧ フリースクール SACHI station
13:30 ~ 13:45	15 分	確認⑨ まなピタネット
13:45 ~ 14:00	15 分	確認⑩ えんぴつの会
14:00 ~ 14:10	10 分	閉会、次回の委員会について

審査内容に係る内容のため非公開

第 4 回市民活動推進委員会（プレゼン審査） 進行スケジュール

時刻	所要時間	内容
9:30 ~ 9:32	2 分	開会、委員長挨拶
9:32 ~ 9:42	10 分	プレゼン審査の説明
9:42 ~ 9:50	8 分	準備など
9:50 ~ 10:10	20 分	確認① 相模国分寺跡の景観を守る会
10:10 ~ 10:30	20 分	確認② まりぞうランド
10:30 ~ 10:50	20 分	確認③ 中医薬膳学を通して養生を学ぶ会
10:50 ~ 11:00	10 分	休憩
11:00 ~ 11:20	20 分	確認④ 相模国分寺ラジオ体操くらぶ
11:20 ~ 11:40	20 分	確認⑤ 学習支援ボランティア「わいわい」
11:40 ~ 12:00	20 分	確認⑥ チーム海老名
12:00 ~ 13:00	60 分	昼休憩
13:00 ~ 13:20	20 分	確認⑦ フリースクール SACHI station
13:20 ~ 13:40	20 分	確認⑧ まなピタネット
13:40 ~ 14:00	20 分	確認⑨ えびなみんなにやさしいごはんプロジェクト
14:00 ~ 14:20	20 分	確認⑩ えんぴつの会
14:20 ~ 14:30	10 分	休憩&集計
14:30 ~ 14:50	20 分	交付団体及び金額の決定
14:50 ~ 15:00	10 分	閉会、次回の推進委員会について